

# NYA会報

Nagasaki Young Generation Association

発行 ▶ NYA (社) 長崎青年協会 / 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階  
 TEL.095-821-1625 FAX.095-823-7375  
 会長 野島徹也 編集 ▶ 広報委員会 委員長 井手清治

スローガン  
**心意気**  
 2001  
**8**

8月号のテーマ「熱」

会長挨拶

会長 野島徹也



皆さんこんにちは、いよいよ夏本番ですね。この夏は、ダイポールモード現象なる新たな学説が飛び出して酷暑となり、残暑も厳しくなるそうです。7月に行われました「ながさきみなとまつり」では青年協会チームもペロン選手権職域の部に参加し長崎港を賑わせてまいりました。そんな中残念な事に兵庫県で行われました大花火大会では死者を伴う事故が発生し、心配された「ながさきみなとまつり」での大花火大会の警備ですが、参加者がそれぞれに気を引き締めて参加する事により無事に終了しました。そしてダンスイベント、清掃、日曜日の海上イベント、みなとのターザン2001が開催され、会場に集まった参加者、観客、スタッフそれぞれに楽しんだのではないのでしょうか。皆さん大変お疲れ様でした。そして、8月8日にはピースキャンドル平和の灯事業も行われます。長崎から平和の発信と言う意味でぜひ参加して頂きたい事業でもあります。さて夫婦同伴例会も多数の奥様方に参加して頂き青年協会の活動の一端を垣間見て頂けたのではないかと思います。今月は青少年育成事業もあります。子供達に自然や環境の大切さを感じてもらいたいと思います。夏バテや熱中症に気をつけて、この夏を健康に乗り切りたいものです。

7月夫婦同伴懇親例会開催

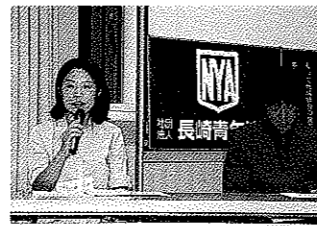
平成13年7月23日(月) / 長崎ブリックホール

今年度も会員の奥様方に青年協会の例会に参加して頂く「夫婦同伴懇親例会」がブリックホールで行われた。

会員41名と奥様14名の参加があり、15名のお子様は例会場隣のキッズルームでの待機となった。

今回は、奥様と会員がより顔が見え、意見が出やすいようにと机が取り外され椅子だけとなり、熱気あふれる例会場となった。会員と奥様の熱い視線を集め、野島会長挨拶に始まり、役員、委員会、同好会報告が行われた。企画推進室の報告時にはみなとまつり実行委員会の松尾幹事長、新ヶ江青年協会OBよりみなとまつりの案内と協力要請があった。

その後、今回の「ためになる例会」では「子供の教育について思うこと」をテーマに、司会の片岡義勝君よりコメントーターの泉 栄吉君(長崎大学教育学部卒)と広瀬智子さん(広瀬健司君ご夫人・奥様代表)の紹介があった。まず、泉君より学習指導要項の説明の中で、昔は、暗記重視だったのが個性を伸ばす教育になり、現在はゆとりある教育に変化しているという発言があった。続いて「遊びも勉強のうち」という考えの中で、会員と奥様から自分たちが



奥様もコメントーター



熱烈歓迎



例会風景



奥様も一言



お子様お食事中



キッズルーム



奥様達もカンパイ



美人妻集合

子供だった頃の遊び方を求め、やねあげ、虫捕り、ゴム飛び、自転車乗りといった外で遊ぶ遊び方が多かった。反面、今の子供の遊びは部屋の中での遊びが多いという意見だった。広瀬さんからは、今の子供は外で遊ばないことにより人と人とのコミュニケーションをとることが苦手となり、いじめ、不登校の原因になっていると発言された。また、平成14年度より完全学校5日制となるため、家庭内で子供と接する時間が増え、親としての責任が重要になってくるのではといった意見も出された。青少年犯罪や学校週休2日制については、社会や地域でサポートをするべきであり、何らかのメニューを提示し母親の負担を減らしていくことも大切だと意見が述べられた。

たくさんの熱論が繰り広げられたが、子供の教育については、学校だけではなく家庭での教育(子育て)も大事であり、青年協会会員として、また一人の大人(父親を含む)として、少しでも子供のためにできることからやらないといけなく考えさせられた「ためになる例会」だった。

後半は会場を1Fレストラン「ラ・ガポール・パレ」に移動し、立食形式による懇親会が行われた。地島直前会長の乾杯により歓談となり、地域事業委員会による今年度初の「熱血委員会」が行われ、10月の「おくち広場」への参加協力を熱く訴えた。またご夫婦並んでの「奥様紹介」では、奥様より夫の良い所、悪い所を一言頂いたが、奥様との熱々ぶりを見せつけた格好となった。

会場内では、奥様同士や会員と奥様が和やかに語り合い、協会活動に対する理解を深めながら楽しい懇親会となった。その後、「誕生者祝い」「よろこび」と続き、青年協会の歌により9時30分終了となった。



増崎夫妻

石田夫人と野島会長

峰ファミリー

麓夫妻

前田夫妻

馬見塚夫妻

寺本夫妻

広瀬夫妻

渋谷夫妻

地島夫妻

山口(雄)ファミリー

三瀬ファミリー



吉野夫妻

委員会訪問記

研修開発委員会の巻 =全体研修を控えて=

全体研修の企画を理事会に提出しているのがあるが、なかなか理事会を通過出来ない。しかし、落ち込んだり、腐る様子もなく、この日の委員会では大幅に内容を変更して理事会通過を目指す。この日の出席者は(写真左より)山田君(28才)、松尾副委員長(27才)、坂上委員長(28才)+馬見塚室長。若さで熱く燃える委員会であった。

松尾幸洋副委員長による全体研修の紹介

毎年恒例の行事であります「全体研修」の季節が今年も来ました。例年、「8月最終土、日」の日程ではありますが、今回は「9月15日(土)、16日(日)」に行きます。

研修、レクリエーションの他にも夜を一緒に過ごす事で協会内で普段の「委員会」や「例会」であまり顔なじみでない会員の皆さんとも親交を深める良い機会になると思います。皆さんの参加をお待ちしております。

福島広之副委員長による委員会の紹介

当、研修開発委員会は坂上委員長のもと、若い人たちが良く参加し、まとまりがあり、活発に意見が飛び交う楽しい委員会です。現在は来月の全体研修の打ち合わせを主に行なっています。

私は委員会の中でとうとう最年長になってました(笑)。仕事の都合で欠席しがちですが、微力ながら力になっていきたいです。



委員会風景

# ながさきみなとまつり

平成13年7月21日(土)、22日(日)  
27日(金)~29日(日) / 長崎港周辺

## 21日(土) 長崎ペーロン選手権大会・職域対抗への出場 ~熱き男達の暑きペーロン~

松が枝国際観光埠頭



ペーロンオールスターズ 完全燃焼・地島監督 助っ人(OB)4人衆

当初、大会の土曜日開催、会員数の減少という事情もあり、出場辞退も検討されたが、参加を熱望する会員やOBの参加協力もあり、15日の牧島での練習を経て当日の参加となった。開会式後の予選第1レースでは、身体も目覚めていないのか、漕ぎ手の息も合わず6艇中、6分18秒36の6位でゴール。午後からの敗者復活第9レースでは、一度漕いで身体も目覚め、全員が最後の力を振り絞り、糧を合わせた結果、午前のレースよりも若干タイムもよく6艇中、6分15秒84の5位でゴール。しかし、残念ながら次のレースに進むことはできなかった。選手の皆様と参加頂いたOBの皆様、暑中、熱くなったペーロン出場、お疲れ様でした。

## なんでん! かんてん!! ダンスフェスタ2001 プレイベント

かもめ広場

一週間後にせまったダンスフェスタへの来場を呼びかけるため、13時よりプレイベントが行なわれ、当日出場する8チームが本番さながらのホットなダンスを繰り広げた。青年協会からはスタッフとして峰君(実行委員長)、副島君(タイムキーパー)、寺本君(受付)、酒井君(同)が参加した。



受付は一段落 進行は順調 無問題!!

## 28日(土) なんでん! かんてん!! ダンスフェスタ2001

旧にちらん広場特設ステージ

「ジュニア」、「一般」、「シニア」部門より合計38組のチームが参加し、行なわれた。10時30分より受付を開始し、13時にダンスフェスタが開幕した。常連チームに初出場チームもまじり、熱いダンスバトルを展開、ダンス終了後はゲストステージ、開港5都市のミス紹介、結果発表と続き、総踊り時にはステージ上も観客席もかなりの熱気を帯びていた。午前の受付終了後は、花火大会終了までNIBの警備という裏方の仕事だったが交替をしながら皆まじめに警備を行っていた。企画・運営の中心となった企画推進室の皆様お疲れ様でした。



青年協会代表は峰室長 次長はタイムキーパー 総踊り

## 大花火大会 警備・清掃

長崎港周辺

ダンスフェスタに引き続き、20時50分より30分の間に6000発の花火が打ち上げられた。花火見物の人出は半端な数ではない。今回は「みなとクリーンアップキャンペーン」と銘打ち、来場者に対し会場の清掃活動に理解、協力を願ったが、それでも清掃は重労働だった。



他団体と共に清掃に汗を流し、広い会場は奇麗になった。皆さんお疲れ様でした。 只今、警備中 お疲れさん!! カンパイ 明日も頑張ろう ダー!!

## 29日(日) みなとのターザン2001

出島ワーフ特設会場

かつて、みなとまつりで青年協会が企画・運営していた皆さんご存じの海上大ジャンプ大会が復活した。

8時よりミーティング、設営、リハーサルが行なわれ、12時30分より参加者受付、13時45分より競技を開始した。

審査基準が「クイズ」、「大声」、「飛距離」、「衣装」、「パフォーマンス」ということで、出場38組が絶叫を残し、長崎港に飛び込んでいった。今年はお島ワーフ前ということもあり、観客も多く各チームこった衣装でジャンプする度に歓声が上がり、長崎港に新たな歴史を残した。



早朝ミーティング 受付風景 「原ターザン」参上!!

### お疲れ様でした

#### 峰章二企画推進室長の感想



長崎の青年3団体が一致団結し、みなとまつり実行委員会のもと事業を大盛況のうちに行った。各団体協力のもと準備から当日までスムーズな段取りで協調しながらできた事はたいへん素晴らしい事ではなかったでしょうか。イベント自体の性質、各団体の状況を少し考えながら、次年度以降もこの「みなとまつり」が続いていく事を期待致します。

#### 副島秀継君(ダンスフェスタ担当)の感想



ダンスフェスタの中でタイムキーパーを担当しました。当日は、出演者の熱気と夏の日差しでとてもアツク、しかし、とても充実した1日でした。おかげでその後の花火は感動もので、最高にうまいビールも頂きました。

#### 飯塚和哉君(ターザン担当)の感想



昨年は「ターザン」が行なわれなくて寂しかった…。今回はお声がかかり嬉しかったです。そして事故もなく無事終了して良かったです。皆さんも来年は海から「ターザン」を観てみませんか? お付き合いしますよ。 まだまだ元気一杯

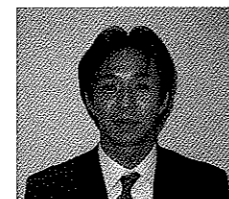


## 祝! ご結婚!

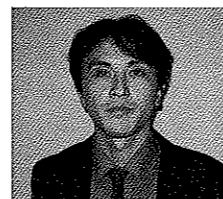


新郎 小川 順君 (地域事業委員会)  
新婦 扶美さん  
平成13年7月22日(日)  
於: サンプリエール  
小川君の喜びのコメント  
皆さんには挙式翌日の夫婦同伴懇親会時に、タイムリーに報告するつもりでしたが、バタバタして出席できませんでした。青年協会には素晴らしい家庭を持った!? 方が数多くいらっしゃるの、お手本にしながら頑張っていきます。

## 新入会員紹介



浅野光広君 S46年2月5日  
勤務先: (有)長聖トータルサービス  
趣味: 釣り、ウェイクボード  
配属: 総務例会委員会  
自己PR: 協調性はある方ですが、頑固な面も持っております。



中尾裕一君 S49年7月5日  
モバイルステーション車、ラジコン交流委員会  
積極的に動いて、元気が有るところです。

## 同好会だより

### 野球同好会

	1	2	3	4	5	6	7	計
バンズ	0	0	0	3	0	0	0	3
長崎青年協会	0	0	0	0	0	0	2	2

市民早朝野球 7月4日  
かきどまり球場 6回まで0点に押さえ込まれていた青年協会は最終回に反撃開始。山口(雄)君の2塁打を皮切りに2点を奪い、なおも1アウト2、3塁のサヨナラ勝ちのチャンスをつかみながら後続が3塁ゴロ、キャッチャーフライに倒れゲームセット。あと1本が出なかった。

## 編集後記

今年の夏は記録的猛暑である。毎日真夏日、熱帯夜が続いている。7月24日静岡県佐久間町では最高気温40.2度を記録した。平年より多数の熱中症患者の発生、家畜が熱死する事故も起きている。これはインド洋で1994年以降のダイポールモード現象が起きているためだそうだ。これに加えて都会ではヒートアイランド現象も起きている。

この暑い最中にも、参議院選挙や、いろいろな場所で熱い戦いが繰り広げられた。現在一番熱いのは甲子園か。当事者は勿論だが、それを支えるスタッフの助けも重要だ。彼らは陰の主役である。...協会活動もしっかりである。